

遠い親戚のおじさんが  
僕の世話をするために  
屋敷に住むことになった

それ以来リリスは  
前よりもずっと  
怪しくなっている

おやすみ  
なさいませ  
坊ちやま……♡

服の露出も  
以前より  
多くなっただし

おじさんといる時の  
リリスはいつも  
そわそわしている

おじさんが寝る  
タイミングで  
リリスも一緒に  
部屋に入り

数時間経つまで  
出てこない

……僕には  
ふたりが部屋で  
なにをしているのか  
検討もつかない

何かすごく  
良くないことが  
起きている気がして  
僕はリリスに  
それを聞くのが怖い



でも!!  
手遅れになつて  
しまわないよう

明日こそ  
勇気を出して  
リリースに  
聞いてみよう!

旦那様...っ  
いけません  
...っ♡

最近...  
坊ちゃまに  
怪しまれて  
いますので

おそろくまだ...  
部屋の外に...っ♡



ならリリース  
キミが声を  
ガマンすれば  
いいだろう

むっ♡  
くっ♡

旦那さま  
スゴすぎて...っ♡  
声...っ♡

坊ちゃまに  
間かれて  
しま...っ♡

あのガキを  
気にかけるのも  
今夜までだ

すでに荷物は  
まとめてある  
んだらう?

希望通り  
明日から  
キミは私の  
本邸勤め  
だからな

突然僕の前から姿を消したリリスから手紙が届いた

まったく！

急にいなくなっただけが悲しかったと思ってるんだ！

でも…

離ればなれでリリスもきつと寂しかったに決まってる

——拜啓  
ゆうり坊ちゃま

お変わりなくお過ごしでしょうか？

こうしてお手紙を書くのが遅くなってしまい申し訳ございません

私は…

坊ちゃまのことなどすっかり忘れておりました♡

新しいご主人様の寵愛を受け毎日幸せに過ごしています♡

坊ちゃまが未だ私に好意を抱いておりいつか戻ってくるのをけなげに待ち続けているのだしたらお気の毒ですのでお伝えしておきます。

私は一生を捧げご奉仕するお相手として坊ちゃまではなく今のご主人様を選びました♡

申し訳ございません坊ちゃま♡お詫びに写真を同封しておきますので好きなだけチンズリしてくださいね…♡

追伸

旦那さまの言うことはしっかり聞かなくてははいけませんよ。未熟な坊ちゃまの代わりに屋敷や資産の管理をしてくださるとても優しく優秀で尊敬すべきお方です。感謝の気持ちを忘れないように。





